



毎月第3主日は日本キリスト教団の定めた  
「日本伝道の推進を祈る日」です

## 共に祈るために

全国17教区が取り組んでいる伝道の働きを  
2教区（東京は支区）ずつ紹介します。  
全国の教区・教会・伝道所を覚えて  
祈りをあわせましょう。

献金についての問い合わせは  
日本基督教団事務局まで（TEL 03-3202-0541）

### 日本基督教団伝道推進 基本方針

- 祈祷運動 共に祈ろう
- 信徒運動 共に伝えよう
- 献金運動 共に献げよう

「日本基督教団全国伝道推進献金」  
振替口座 00140-7-293436

### 大阪教区

20の教会がある大阪教区南海地区には「教会学校会議」があります。在日大韓基督教教会を含む12、13の教会が集まり、研修会や子ども集会を行う、40年という長い歴史のある集まりです。運営にあたる会議の委員長や書記、会計は信徒の方々が大切に担ってききました。

各教会学校の教師たちが集まりそれぞれの課題や喜びを分かち合う「教師研修会」、教会の子どもたちを招いてのデイキャンプ「生徒の集い」をそれぞれ年に1度行っています。

生徒の集いでは、各教会から集まった子どもたちが再会を喜びつつ、共に礼拝をし、その後は自由に遊んだり食事作りに協力したりなど、各々が自由に過ごします。最後には大きなカレー鍋をつつきながら笑顔で話をするのも恒例です。

2019年度の教師研修会では「子どもたちへどのように福音を語るのか」、実際に子ども向けのお話や講演を聴きつつ教会学校の教師たちが熱心に語り合いました。また、学校や家庭で居場所を失ってしまった子どもたちの居場所に教会がなれることを分

かち合いました。

この会に出席することで、子どもたちに関わるのは牧師だけではないことを実感します。各教会の信徒たちが率先してそれぞれの課題に向き合い、喜びを分かち合っています。そこに恵みを実感します。

これまで中止を余儀なくされていた教師研修会を今年度から再開することとなりました。子どもの減少など、多くの課題がある時だからこそ、各教会同士が声を掛け合い、支え合っていくことが求められます。これからも共に苦難も喜びも分かち合っていきたいと心より願っています。

（大阪・鳳教会牧師 三浦遙）



2018年、南海地区の「生徒の集い」参加者たち

### 九州教区

九州教区宣教会議を2022年7月18日、3年ぶりに開催しました。この間の経験を駆使し、教区内10の地区に1つずつ会場をもうけ、オンラインで結んでいったのです。参加者は、これまで50名程度でしたが、今回は129名となりました。

プログラムの中で「ショータイム」と称する各地区の紹介の時を持ちました。持ち時間は各地区6分間。その場でのパフォーマンスよし、事前に作成した動画でもよしとしたところ、各地区趣向を凝らして、にぎやかな賛美あり、地区内各教会の紹介あり、ペトロ・カスイ岐部の足跡をたどる旅あり、地区総出のダンスなど、バラエティ

に富んだものとなりました。

九州教区は、南は徳之島から北は北九州までの広域に126の教会・伝道所が置かれています。遠く離れていてもコロナ禍であっても、オンラインを利用して互いの様子を知り、主にあつてつながりあっていることを感じられ、大変うれしく元気が出ました。この会議の本題は「教区 宣教基本方針・宣教基本方針とわたしたち」。「九州教区 宣教基本方針（2017年度～2026年度）」は次のとおりです。

1、イエス・キリストのみを主と告白し、それ以外を主とすることを斥けます。  
2、神の業に参与する礼拝をささげ、福音を広く分かち合うことに日々努めます。  
3、『戦責告白』の意を受け継いで戦争を斥け、平和をつくり出します。  
4、互いに支え合いつつ、九州教区がおかれた地域の様々な課題に誠実に向き合います。

3名の方から「策定経緯と文言の意味」「他教区の方針等との比較」「各教会にとっての教区や宣教方針」を内容とする発題を聞きました。協力して宣教を担う仲間たちと一緒に神のご委託を学ぶことができ、宣教への励ましが与えられました。

（九州教区総会副議長 西岡裕芳）

## 祈りの課題

### 九州教区

- 九州教区宣教基本方針によって主に仕え、互いを覚えあって共に歩むことができますように。

郵便振替 01770-7-21517

「日本基督教団九州教区事務所」

### 大阪教区

- 信徒お一人お一人の信仰、働き、健康が支えられますように。
- コロナ禍にあって、重荷を負っている教会・伝道所、学校、関係施設の上に、主が示される希望がありますように。

郵便振替 00910-1-27872

「日本基督教団大阪教区」



ダンスを披露する奄美地区の方々